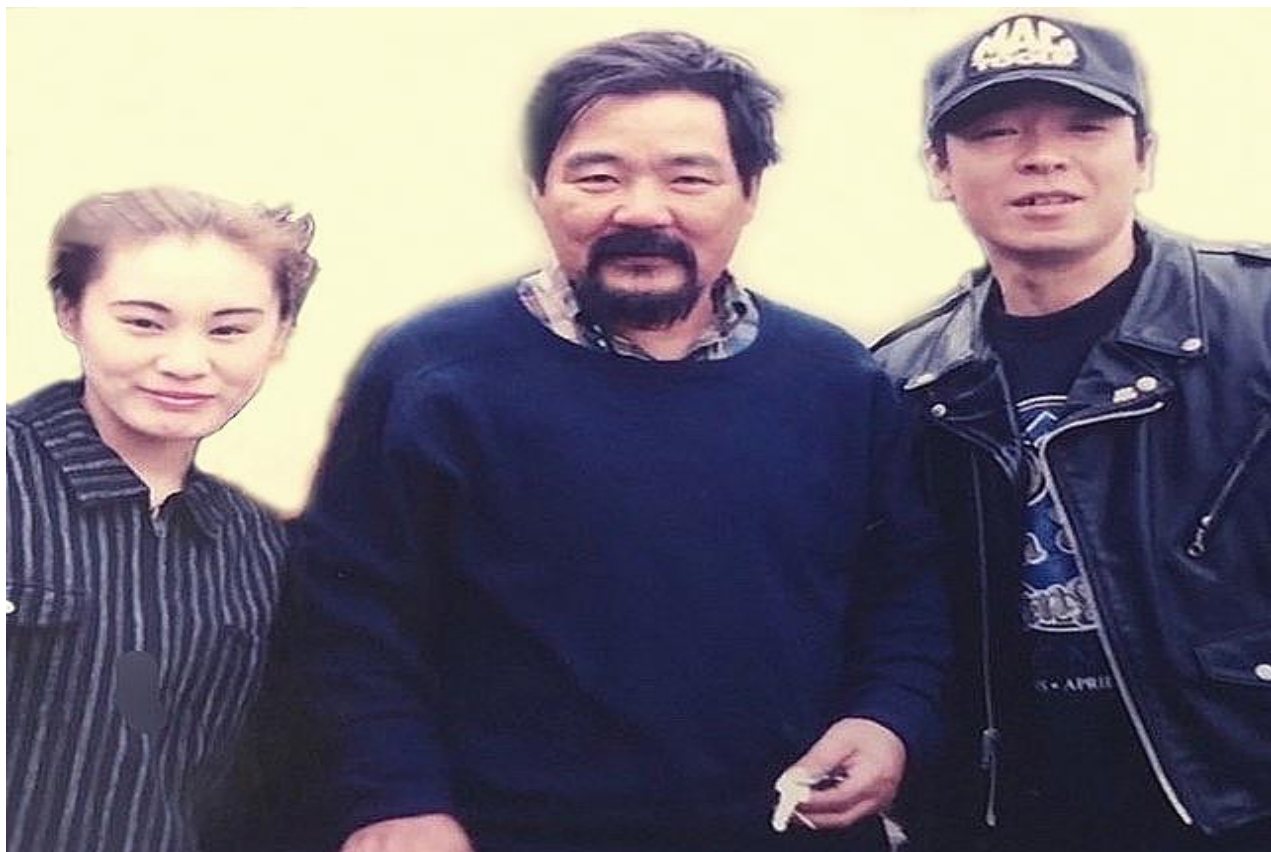


# キンモクセイのかおり



スルガダルク 代表 五十畑修

10月に入り、いよいよ秋めいてまいりました

皆さま いかがお過ごしでしょうか。

ダルクの畑作業では、さつまいもの葉も青々と伸びて収穫も楽しみです。

今年 2月27日 ダルク創設者の近藤恒夫さんが帰天なされて、ご本人の意思でもあった メッセージを皆んなに伝えたいと 「負こそ生の力なり」

NHK Eテレビ9/27に放送されました。新しく繋がったスルガダルクの仲間たちも映像で初めて近藤恒夫さんを見て、この方の熱意が無ければ今の自分たちの回復は無かったと言っています。

私も少しだけ話させていただきましたが、ダルクのミッションは 回復と希望を繋げていくそんな場です と伝えなかった。スルガダルクの仲間もインタビューに何人か取材受けましたが全員  
の場面は時間の都合カットのところもありました、1時間の番組でも足りないですね。

東日暮里のダルクの頃のプログラムの日々懐かしかったです。22年前に始まった刑務所の塀を超えたダルクメッセージ、今も毎週続いています。近藤恒夫さんが 薬物依存とは 痛みの表現だと受け止めている それも「寂しさの痛み」である 自分は社会で必要とされていない役に立たな

いという気分の悪さ疎外感 虚しさ…だから薬物依存の増加は SOS のサイン「生きづらさ」のサインとして受け止めるべきだと思っている。

闘病中ベッドのうえで

「ダルクがあって救われたのは俺だなあと思うよ」。

私たち一人ひとりも 同じ思いです ありがとうございます。

番組見逃した方 NHK オンデマンド(有料)

番組再放送も有るかと思いますが、直ぐにご覧になりたい、もう一度見たい方は録画 DVD お貸し致します。ご連絡下さい

いさむ



### 「道に光が・・・」

カルビ

こんにちは。薬物依存症のカルビです。2010年の5月にダルクに入所して12年になります。22～24歳は川越少年刑務所、29～31歳は福島刑務所に服役していました。その後、1か月もたたないうちに、また逮捕されました。思えば、19歳で覚せい剤を使ってから苦しみだけでした。楽しかったのは最初の1年間だけで20歳ぐらいから、病気の後遺症で幻聴が聞こえ始め、そこからは落ちていくのは、あつというまで今でも苦しみは続いています。福島出所後の逮捕の時、担当の検事に自分の薬物依存、後遺症の幻聴、被害妄想、自分の頭の中身が他人に伝わるんじゃないかというサトラレ病など自分のすべてを話しました。検事からは「それは病気だと。刑務所じゃなくて、精神病院に行き治療したほうがいい。」と言われました。そこから自分の病気の治療からダルクでのリハビリが始まりました。



同じ薬物依存症やアルコール依存症、ギャンブル依存症など仲間との集団生活の中でリハビリを続け、おもにミーティングや運動、自助グループの参加などの繰り返しでした。

自分でもまだいまだになにがいいのかわかりませんが、1つだけ確かな事があります。12年間薬物を使わないで、刑務所にも服役せず、生活を続けている事です。

これは自分にとっては、大きな大事なものです。

酒は施設にいて、何回か飲んでスリップしています。最初は仲間と一緒に飲んでいました。飲んでいた仲間が退寮したり、入院したりして、最終的には自分ひとりで飲むようになりました。お酒を飲むと、薬物を使ったような状態になり、後遺症の部分が出てきて、幻聴、被害妄想、サトラレ病などがでてきて体調が悪くなり再度精神病院に入院したことがあります。つらい思いをしているのに、退院してから、また再度飲むという事を施設で繰り返してきました。5年前に酒を飲んだ時、

また体調が悪くなり、そこで自分の中で色々考えました。本当にこのままでいいのか？後悔しないか？今の自分の生き方が胸を張れるか？将来の自分の姿とか？色々かんがえました。考えた結果、今は今日一日だけをやっていくしかない。と思い、今日までやってきました。クリーン5年になりました。

そして、今は自立訓練所で非常勤の支援員としてお手伝いをさせていただいています。仲間の送迎で車の運転（かなりへたくそ・・・笑、薬物使っていた時は給料のすべてを薬物、パチンコ、風俗などに使っていて自分の車を買える経済力がなくて、ペーパードライバーですが、）パソコンなどの操作の練習、畑作業などの組み合わせ、処方薬の管理、仲間のサポートなど（自分がサポートされている・・・笑。）今まで施設でサポートされてきた分、自分に何ができるか分かりませんが、今度は自分が！という思いです

楽しい事、つらい事、悲しい事、嬉しい事・・・、生きづらさ、幻聴、サトラレ感、怒り、生きていて色々な感情がでてきますが、それでも、このプログラムだけはこれからも続けていきたいと思いました。自分の中でいままで何一つ何かをなし遂げられなかった人間ですが、努力！根性！回復！成長！仲間と共に！



### もう一度覚醒剤を止めたくて

こんにちは、薬物依存症のタッチャンです。

自分は三十代の頃、一度、覚醒剤を止めていた時期があったのですが、今から、八年前位に昔の先輩と出会ってしまい、八年前から又、覚醒剤をやるようになってしまったのです。

自分の気持ちの中では、一度、止めているのだからと言う甘い考えをしたのが大きな、間違えでどんどん深みに入ってしまい、長々と覚醒剤を止める事が出来なくなって、この約八年間、覚醒剤を家族に隠れてやり続けてた時に一度、嫁に見つかって嫁と喧嘩になったりもしたけれど、それでも隠れてやったり、友人の家で覚醒剤をやったりして、家族には申し訳ない気がしてたけど、でも、自分がやっとな覚醒剤を止める切っ掛けができたのです。

それは、2022年の上半期はまだ、覚醒剤を買いに行った時に、後輩に少し酷い仕打ちをされ、いつもはメモリ10のところ、約メモリ20位まで覚醒剤を入れてしまい、そして、シンナーまでやってしまった事で、頭がおかしくなってしまう仲の良い友人まで、警察とグルになって自分を捕まえに来たんじゃないかとか、自分で前回、仕事をしてた社長の所に連絡をしたり昔、お世話になった保護司の先生の所に連絡して、自分が自分でなくなってしまい、その保護司だった先生にダルクって所に行ってみないかと言われて、自分でその先生に行くと伝えて、今、お世話になっているスルガダルクに連れられてきたのです。

そして自分が、本当に覚醒剤を止める勉強が始まったのです。

ダルクでは色々な、依存症の人がいたりして、自分に似てる生き方の人や、全ったく違う生き方の人やいて、少しビックリしたけど、でも皆な薬物やアルコールを断ち切って頑張ってる人ばかりで、皆な人生のやり直しを一生懸命頑張ってるんだなと、すごく感じとれ、自分も負けずに、覚醒剤を止めて家族の元に帰りたいと思ったのです。



ダルクって最初は厳しい所なんだろうなと思ってたりしていたのですが、キャンプがあったり他のダルクは分からないけどスルガダルクでは毎週日曜日には食事会があったり週3日のNAのミーティングで過去の自分事や新たに出発する人生の事を話したりもして、すごく勉強にもなって、本当にこれで覚醒剤を止めれると思いました。

社会に戻りそして又、覚醒剤をやったりした時は、最後にチャンスを入れて、このような自分を受け入れてくれた家族に顔向けできないし、申し訳ないので、ダルクを卒業してからも二度と覚醒剤には手を出さない人生を送って行きたいと思うし、昔、友人から、言われた一言があって、女と子供にを泣かす男は半人前の男だと言われた事があり、自分はまだ半人前の男だと今、すごく感じてるし、これからの、残りの人生は自分を受け入れてくれた家族を泣さない人生と覚醒剤を絶対に使用しないクリーンな人生を送って行きたいと、このダルクでそう思う様になりました。

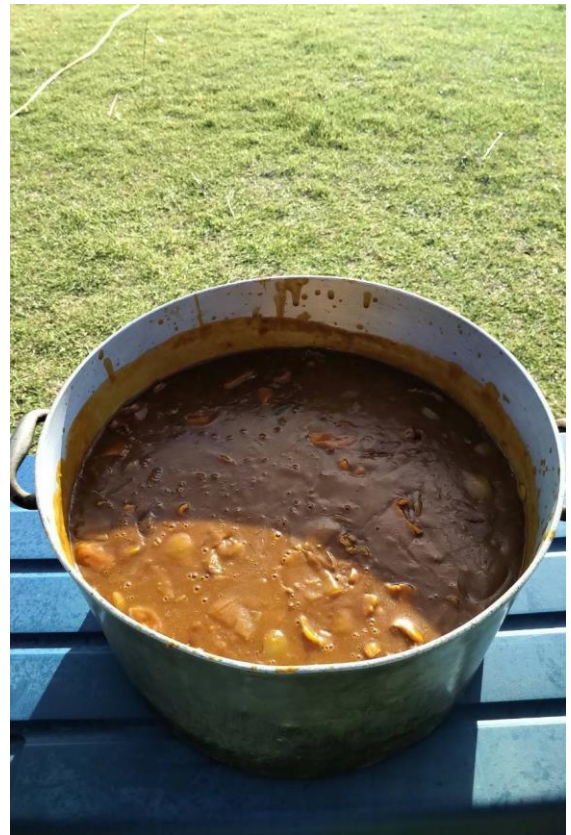
新しい人生にはどの様な壁にぶち当たるか分からないけど、自分の意思を強く持ちそして最後にチャンスと、受け入れてくれた家族の為に頑張って回復して家族達と楽しい人生を、歩いて行きたいと思います。



## DARC PHOTO LETTER









# DARC 活動報告 2022 年



## 2022 年 4 月

- ・横浜刑務所 特別改善指導 3 回
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 4 回
- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導 2 回
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター  
リハビリミーティング 2 回
- ・静岡保護観察所 処遇協力
- ・ヨガ療法プログラム 2 回

## 2022 年 5 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 2 回
- ・横浜刑務所 特別改善指導 3 回
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング 2 回
- ・清水看護学校 実習協力 4 回
- JCCA 役員会議 参加

## 2022 年 6 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・清水看護学校 実習協力 8 回
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 2 回
- ・横浜刑務所 特別改善指導
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング 2 回
- ・静岡刑務所 特別改善指導 2 回
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム
- ・佐鳴台中学校 薬学講座

## 2022 年 7 月

- ・都田中学校 薬学講座 講師
- ・浜松医大 薬学講座 講師
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 2 回
- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導 3 回
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング 2 回
- ・海の日プログラム 静波 beach
- ・静岡県立大学 人権の授業 講師
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム

## 2022 年 8 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導 2 回
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 3 回
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング
- ・静岡保護観察所 集団処遇

## 2022 年 9 月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導 2 回
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 4 回
- ・静岡県精神保健センター リハビリミーティング 2 回
- ・ダルク合同宿泊研修会
- ・静岡保護観察所 集団処遇
- ・静岡保護観察所 出所者引取受人会